

齋賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< [IgG4関連疾患について](#) | [TOP](#) | [最近のケアネットの記事より](#) >>

2021年11月09日

<< 2022年10月 >>

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

最近の記事

- [\(10/15\)乳幼児の発熱管理](#)
- [\(10/14\)マダニによる日本紅斑熱が市原で発生](#)
- [\(10/12\)副腎偶発腫瘍 \(incidentaloma\) の発生頻度](#)
- [\(10/08\)小児のLong COVIDに対するガイドライン](#)
- [\(10/07\)新しい血糖降下薬のコストパフォーマンス](#)

最近のコメント

- [副腎偶発腫瘍 \(incidentaloma\) の発生頻度](#) by (10/14)
- [ネット情報・8月5日](#) by (08/06)
- [オミクロン株の変異の猛威](#) by (07/21)
- [オミクロン株でクルーズ症候群は起きるのです。その2](#) by (06/06)
- [糖尿病治療薬GLP-1作動薬と胆嚢疾患](#) by (04/26)

タグクラウド

カテゴリ

- [小児科](#) (227)
- [循環器](#) (253)
- [消化器・PPI](#) (148)
- [感染症・衛生](#) (283)
- [糖尿病](#) (132)
- [喘息・呼吸器・アレルギー](#) (102)
- [インフルエンザ](#) (108)
- [肝臓・肝炎](#) (62)
- [薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#) (51)

心不全治療薬の三種の新器

心不全治療薬の三種の新器

2021 Update to the 2017 ACC Expert Consensus Decision Pathway For Optimization of Heart Failure Treatment: Answers to 10 Pivotal Issues About Heart Failure With Reduced Ejection Fraction



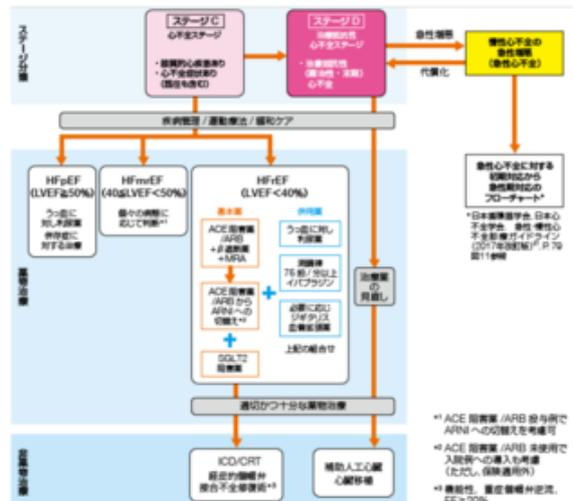
新たな心不全治療薬がこの秋から長期処方も可能となり、患者さんの選択肢が増えてきました。

三種の新器とはARNI、Ivabradine、SGLT-2阻害薬です。

また、雑誌medicinaの今月号にARNIに関する記事が掲載していただきましたので併せて下記に載せます。

ACCからも2021年版のガイドラインが発表になっていますが、その点を中心にブログします。ARNI（エンレスト）、Ivabradine（コララン）、SGLT-2阻害薬（ジャディアンス、カナダル、アブルウェイ、デベルザ、フォシーガ等）です。

- 1) 先ずは「今日の臨床サポート」よりガイダンスの図を提示します。



** ACE阻害薬 (ARB) 使用時で ARNIへの切替は不可
** ACE阻害薬 (ARB) 未使用で入院時への購入も考慮 (ただし、保険適用内)
** 慢性性、重症症候群併発時、EF≦20%

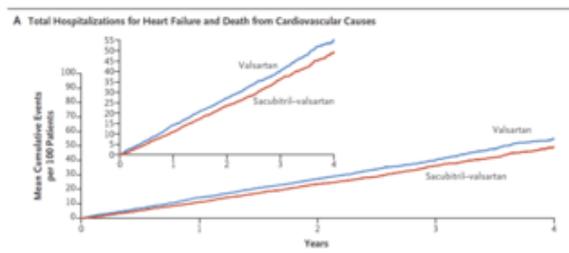
[脳・神経・精神・睡眠障害\(47\)](#)
[整形外科・痛風・高尿酸血症\(33\)](#)
[ワクチン\(79\)](#)
[癌関係\(11\)](#)
[脂質異常\(29\)](#)
[甲状腺・内分泌\(20\)](#)
[婦人科\(12\)](#)
[泌尿器・腎臓・前立腺\(41\)](#)
[熱中症\(7\)](#)
[日記\(24\)](#)
[その他\(81\)](#)

過去ログ

[2022年10月\(7\)](#)
[2022年09月\(13\)](#)
[2022年08月\(17\)](#)
[2022年07月\(13\)](#)
[2022年06月\(15\)](#)
[2022年05月\(15\)](#)
[2022年04月\(14\)](#)
[2022年03月\(15\)](#)
[2022年02月\(14\)](#)
[2022年01月\(16\)](#)
[2021年12月\(14\)](#)
[2021年11月\(17\)](#)
[2021年10月\(17\)](#)
[2021年09月\(13\)](#)
[2021年08月\(16\)](#)
[2021年07月\(12\)](#)
[2021年06月\(16\)](#)
[2021年05月\(16\)](#)
[2021年04月\(14\)](#)
[2021年03月\(18\)](#)
[2021年02月\(19\)](#)
[2021年01月\(16\)](#)
[2020年12月\(17\)](#)
[2020年11月\(15\)](#)
[2020年10月\(17\)](#)
[2020年09月\(19\)](#)
[2020年08月\(14\)](#)
[2020年07月\(17\)](#)
[2020年06月\(14\)](#)
[2020年05月\(21\)](#)
[2020年04月\(18\)](#)
[2020年03月\(18\)](#)
[2020年02月\(18\)](#)
[2020年01月\(19\)](#)
[2019年12月\(14\)](#)
[2019年11月\(15\)](#)
[2019年10月\(18\)](#)
[2019年09月\(18\)](#)
[2019年08月\(14\)](#)
[2019年07月\(14\)](#)
[2019年06月\(16\)](#)
[2019年05月\(14\)](#)
[2019年04月\(18\)](#)
[2019年03月\(19\)](#)
[2019年02月\(19\)](#)
[2019年01月\(15\)](#)
[2018年12月\(16\)](#)
[2018年11月\(20\)](#)
[2018年10月\(20\)](#)
[2018年09月\(18\)](#)

以降はカテゴリーで検索してください。

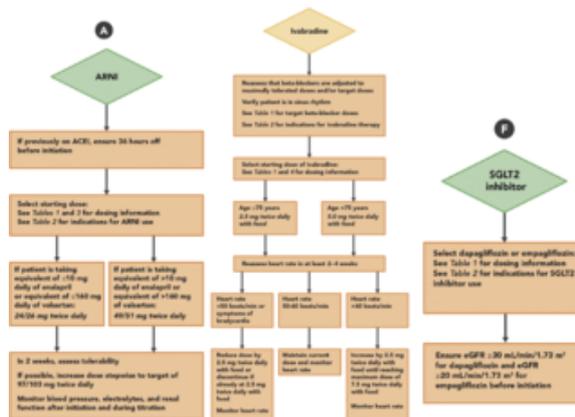
- 2) ARNI
ACCのガイドラインでは上の図とはやや異なり、ARNIを最初から使用することを推奨しています。ARBを使用するよりも安全で効果的としています。
心筋のリモデリングも改善しています。問題は薬価です。
もしもARNIを使用しないと決めたら、ARBは処方すべきであるとしています。
- 3) ivabradine
脈拍数は心不全（HF r EF）の予測因子です。
βブロッカーは直接に脈拍数を減少させ、その転帰も改善します。
βブロッカーの量を増やせば脈拍数も減少し、結果も改善するという報告がありますが、脈拍数を70以上に保つことが、患者の忍容性に関わるとされてもいます。
よって脈拍数が70以下で患者の状態が良好なら、βブロッカーの量はそのまま継続するのが一般的です。一方でivabradineは血圧を下げることなく脈拍を減少させます。
一般的な治療にIvabradineを追加すると、心不全のNYHA分類のⅡ、Ⅲに対しての入院率を下げています。しかもβブロッカーの禁忌の患者にも適応があります。
ただし、ivabradineは主に洞調律の患者に適応で、持続性の心房細動には適応がありません。発作性心房細動には適応があります。
- 4) SGLT-2阻害薬
SGLT-2阻害薬の心不全に対する効果の機序は不明ですが、血圧の低下、動脈硬化の軽減、心筋に対するリモデリングの予防、心負荷の軽減が認められています。
(詳細は以前の私のブログをご参照ください。)
ただし、腎機能の悪化が投与の1年目に認められるため注意が必要です。
- 5) やや前の文献ですが雑誌NEJMにおいてARNI（アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬;一般名:サクビトリル/バルサルタンナトリウム水和物）の効果が記載されています。赤い線がARNIです。



論文の詳細は日本版の下記のPDFで割愛します。

私見)

心不全の考え方も新たなステップを踏み始めています。
「今日の臨床サポート」の図譜をPDF化して、下記に掲載します。
(製作が不十分ですが我慢して見てください。)
ACCのガイドラインには詳細な処方方式が載っています。
後日に和訳しますが、取り敢えず見ておいてください。



本論文参照

[1 心不全 ガイドライン.pdf](#)

[2 新しい心不全治療薬—アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬（ARNI）—.pdf](#)

[3 エンレスト.pdf](#)

[4 コララン.pdf](#)

[5 心不全 今日の臨床サポートより.pdf](#)

[6 日本版 ARNI HFpEF.pdf](#)

0 0
いいね!

ツイート

ブックマーク

【循環器の最新記事】

- [心血管疾患の二次予防における配合剤の戦略..](#)
- [降圧薬の服用は朝か就寝前か](#)
- [痛風発作は心血管疾患の予兆](#)
- [ブルガダ症候群・Brugada症候群](#)
- [駆出率の保たれている心不全には塩分制限は..](#)

posted by 斎賀一 at 20:39 | [Comment\(0\)](#) | [循環器](#)

この記事へのコメント

